

## ITU-T NGN-GSI北京会合 SG13 関連報告

2007年1月29日

日本参加者

## 1. 全体概要

ITU-T NGN-GSI 会合が 2007 年 1 月 8 日～1 月 12 日に中国・北京で開催された。今回は、SG13 関連の 8 課題(Q.1,2,3,4,8,9,13,15)と SG11 関連の 5 課題(Q2,3,5,7,8)のラポータ会合が開催された。

寄書は総寄書数 182 件のうち SG13 関連で 128 件あり、前回 NGN-GSI(ジュネーブ)会合と比較し開催期間の短縮もあり寄書件数は少なめである。このうち、日中韓の寄与は寄書で 99 件、全体の 78%に達している。特に、開催地の関係で地元中国からの寄書が増加した。

参加者は、NGN-GSI(SG11,13)全体で 219 名(うち日本からは 27 名)である。日本からの主な SG13 関連活動者を表 5 に示す。

## 2. 全体的事項

### 2.1 NGN-GSI TSR (Technical and Strategic Review)

TSR は、JCA(Joint Coordination Activity)で決定する SG 間協調の徹底、NGN 関連課題の進捗状況の把握、複数の課題にかかわる問題の抽出を目的としている。TSR は、実質的には NGN-GSI の plenary 相当である。TSR コーディネータはチェイサブ・リー氏(WP2/13 議長:ETRI)と、ディック・ナイト氏(WP1/13 副議長:BT)である。

今会期中には、初日(1/8)と最終日(1/12)に開催された。

初日の TSR にて、米国国防総省の Richard Brackney 氏により、**SG17 にて新規に設立された"Identity Management Focus Group"に関するプレゼンテーション**があった。下記 4WG でスタートすること、各 WG の議長、副議長を募集中であること、第 1 回会合は 2/13～16 にジュネーブにて開催すること、当面 9 ヶ月間の活動を予定すること等 が説明された。

WG1: Principles & Functional Architecture

WG2: Service Requirements & Scenarios

WG3: Security & Privacy

WG4: Data Modelling/ Schema and Management

最終日の TSR では、今会合での審議状況を課題毎に紹介し次会合で課題間の調整や合同での議論が必要な案件が確認された。

### 2.2 中間会合の予定

以下の中間会合の開催が議論された(表 1を参照)。

表 1 中間会合等の予定

関連課題	課題	時期	場所
Q.2/13	NGN における早期実現サービスの要求条件とインプリメントシナリオ(2006/11 WP 会合にて承認済み)	2007年3月5日～9日	ソウル(韓国)
Q.9/13	NGN に与える IPv6 の影響(今会合で開催を提案。SG13 の判断待ち)	同上	同上

### 2.3 次回全体会合の予定

次回 SG13 全体会合は 2007 年 4 月 16 日～27 日にジュネーブで開催される。これまでと同様、SG11、13、19 が連携した会合になる。

## 3. 各 WP 審議結果

### 3.1 WP1: プロジェクト管理(議長: H. Schink, ドイツ)

WP1 は、プロジェクトの管理、用語ならびに公衆データ網に関する検討を扱う。

- (1) Q.1/13: Project coordination and release planning for NGN
- (2) Q.11/13: General network terminology
- (3) Q.13/13: Public Data Networks

上記の 3 課題のうち、Q1/13 と Q13/13 が開催された。

#### 3.1.1 Q.1/13: NGN のプロジェクト連携とリリース策定(今中秀郎 (NTT, 日本)) 【今中、北川】

- 寄書 3 件(NTT が 2 件、韓国が 1 件、ラポータのミーティングレポートが 1 件)と、リエゾン 9 件を議論した。参加者はラポータ以外に 7 名。
- 今会合(NGN-GSI 会合 1 月北京)では、10 月の GSI 会合を最後にラポータを退いた Kyun-Yeop Hong(CISCO、米)に代わり、今中(NTT)が暫定ラポータを、Ms. Xin Chang(Huawei)が暫定アソシエイトラポータを務めた。
- ロードマップ文書(中間段階のプロジェクト管理文書)は、NTT 提案の寄書に基づき更新された。今回の会合で、このロードマップ文書のエディタが、今中から北川(NTT)に変更された。
- 勧告草案 Y.NGN-R1(最終段階で作成される NGN リリース 1 記述文書)に対する NTT と Cisco Systems の共同寄書が合意され、草案が修正された。なお、勧告草案 Y.NGN-R1 のエディタが Mr. Olivier Le Grand(FT)から Ms. Xin Chang(Huawei)に変更された。2007 年 9 月完成予定。
- 補足文書草案 TRY.NGN-R2-scope(リリース2スコープ文書)の作成が、NGN リリース 2 のスコープの明確化と NGN のリリースのワークプランの議論を促す韓国(TTA,ETRI)寄書の議論の結果、合意された。本草案のエディタは Mr. Jin Ho Hahm(ETRI)。ワークプラン(リリース2ならびに3の完成予定時期など)に関する合意はできず、「NGNリリース2ワークプランを明確にする為にさらなる検討が必要」というノートを含めることになった。
- ITU-D からのリエゾンより、法規制に影響すると思われる NGN 勧告の情報提供が求められた。現在 TAP のプロセス中にある、Y.2201(NGNリリース1 要求条件)と Y.2701(NGN R1 のセキュリティ要求条件)が関連すると思われるため、これらを情報提供するリエゾンを返すことになった。
- SG16 からのリエゾンで、H248 の勧告シリーズを NGN 文書データベースに含める提案と、どれが NGN に含まれるか特定するガイドラインを要求された。前者は Q1 のリビングリストに含めることとし、後者は関連する SG11 へ情報提供(Q5/11 へは今会合で情報提供した)することになった。
- 次回 2007 年 4 月にジュネーブで開催される NGN-GSI(第 6 回 SG13 会合)において、Y.NGN-R1 文書の更新、ロードマップ文書の更新、リリース 2 スコープ文書について議論する予定である。

### 3.1.2 Q.11/13: 一般的ネットワーク用語 (暫定: Stewart Alexander (BT, 英国))

- 今回は会合なし。

### 3.1.3 Q.13/13: 公衆データネットワーク (Lintao Jiang (CATR, 中国)) 【仲道】

- 勧告草案 Y.FPBN-addr (FPBN の名前付けとアドレス割り当てに関する一般的な要求条件とフレームワーク) は、アドレス割り当てに関する寄書 1 件が提出されたが、紹介のみで詳細議論は行われなかった。今後の検討項目としてリビングリストに加えられた。
- 勧告草案 Y.PTDN (公衆テレコムデータネットワークの一般的技術アーキテクチャ) が、新規検討課題として合意された。**中国 (MI, Huawei) より提出された関連寄書 12 件が審議され、初期勧告草案が作成された。**本検討の背景は、現状の Q13 で分析されている FPBN のための候補の転送テクノロジーが Y.2601 (FPBN 要求条件) を満たしておらず、解決のためのアプローチとして、1) 要求条件を満たすように現状の technology を改良、2) 要求条件を満たす新たな technology を規定、があり、今回後者を検討するために新勧告草案が作成されたものである。ただし Q13 としては 1) 2) 両方のアプローチを並行して検討することも確認された。
- 次回 2007 年 4 月にジュネーブで開催される NGN-GSI (第 6 回 SG13 会合) において、Y.FPBN-addr/Y.PTDN について詳細議論が行われる予定。

## 3.2 WP2: 機能アーキテクチャとモビリティ (議長: Mr. C.S.Lee, 韓国)

WP2 は機能アーキテクチャとモビリティ、およびセキュリティに関連する以下の 5 件の課題を扱う。

- (1) Q.3/13 : Principles and functional architecture for NGN
- (2) Q.6/13 : NGN mobility and fixed-mobile convergence
- (3) Q.9/13 : Impact of IPV6 to an NGN
- (4) Q.10/13 : Interoperability of satellite with terrestrial and Next Generation Networks (NGNs)
- (5) Q.15/13 : NGN Security

### 3.2.1 Q3/13: NGN の原則と機能アーキテクチャ (K. Knightson (Industry Canada, カナダ)) 【盛岡、二宮】

- 本会合では、ラポータの K. Knightson (Industry Canada, カナダ) が欠席のため、アソシエートラポータの Scott Brim (Cisco Systems, Inc. USA) が代理ラポータをつとめた。
- 勧告草案 Y.NACF (端末管理機能) は、エディタである韓国 (ICU) と Alcatel Shanghai Bell からの提案を元に改版された。**本勧告草案は ITU-T のアーキテクチャ文書 (Y.2012) と ETSI TISPAN の NASS 文書をベースに構成されており、参照点とメッセージフローは TISPAN 文書を参照している。**なお、追記した参照点のうち TAA-FE と他 FE 間 (TUP-FE 等) は今後の検討次第で変更となる可能性がある。TISPAN 文書を参照するためリエゾンで ETSI TISPAN との情報共有を行いながら進めることになり、今会合では本勧告草案をリエゾンで送った。IPTV を想定したマルチキャストと、モビリティ (端末における異種網間のシームレスモビリティ環境等) の実現が目的の文書であるが具体的な機能提案はまだなく、現時点ではリリース 1 で規定される NACF 機能との差分は記載されていない。完成時期は未定。
- 勧告草案 Y.MDS-REQ (管理デリバリーサービス要求条件) は、要求条件とアーキテクチャの両方の規定を目的としており、課題 3 ではアーキテクチャ関連部分を扱う。今会合では NTT とエディタである韓国 (KT) からの提案を元に議論した。NTT 提案により MDS サービス対象であるストリーミングサービス関し FG-IPTV (IPTV 関連課題を主管で実施するグループ) との検討重複を避けストリーミングサービス要求条件を本文書に記載しないことが合意された。韓国からの新機能エンティティ追加提案は既存機能での実現、または機能拡張の可能性が指摘され合意には至らなかった。完成時期は 2007 年 9 月。
- 勧告草案 Y.ipsplit (端末識別子とルーティングのための位置情報の分離) は、構成の変更ならびに定義、

一般的な概観、一般的な要求条件の部分が記述され、合意された。完成時期は未定。

- **FRA リリース 2 の範囲でホームネットワーキングアーキテクチャの作業を開始することとなった。** その際、SG9、SG11、SG13、SG16、ETSI TISPAN、CableLabs、the DSL Forum との調整が重要であることが認識された。また、その議論に関連して DSL Forum の技術レポートを NGN Release2 アーキテクチャの議論に反映すべきとの韓国(HUFS、ETRI)からの提案があり、DSL の成果が有用であることが認識された。具体的にどの文書を参照しアーキテクチャ議論に反映するかといった次のステップに向けた提案が次回寄書として求められた。
- **勧告草案 Y.ngn-mcastfa (NGN マルチキャストの機能アーキテクチャ “fa” は “functional architecture” を示す) は、** NGN のマルチキャスト機能の検討を促進するため、Q2 で作業中の勧告草案 Y.ngn-mcast(MPLS を利用したマルチキャスト)から、NGN 全般に適用できるアーキテクチャとメッセージフローの部分を取り出して、**勧告化を進めることとなった。** 今後、Q2、Q3 間で、要求条件、フレームワーク、アーキテクチャの振り分けを連携して行う。また、マルチキャストのモデルとして、特にマルチキャスト制御、他の機能エンティティ(FE)とのインタラクションの議論があり、議論をさらに進めるために、要求条件とサービスシナリオに関して今後一層の提案が必要との認識に達した。なお、既存の機能アーキテクチャ図で、これらのモデルがサポートできるか否かについても議論がなされた。FG-IPTV に対して、勧告草案 Y.ngn-mcastfa へのコメントを求めるリエゾンが発出された。
- 機能アーキテクチャ リリース 2 の勧告草案は、検討中の新たな機能エンティティは依然として大幅な変更の可能性があるので、各サービス固有の要求条件を十分に精査した後で、FRA に反映する必要があるかを検討することを合意した。
- 次回 2007 年 4 月にジュネーブで開催される NGN-GSI(第 6 回 SG13 会合)において、マルチキャストアーキテクチャ、NACF、MDS アーキテクチャ、ホームネットワーキング等について議論する予定である。

### 3.2.2 Q.6/13: NGN のモビリティ及び固定と移動連携(B. Zhang (Huawei, 中国))

- 今回は会合なし。

### 3.2.3 Q.9/13: NGN に与える IPv6 の影響(H.J.Kim (ETRI, 韓国)) 【大和、二宮】

- 勧告草案 Y.ipv6transit(IPv4 から IPv6 への移行に伴う NGN の機能要求条件と配備シナリオ) は、韓国(ETRI)からの提案に基づき移行のためのサービスストラタムの機能要求を追加し内容の充実化を図った。完成目標は 2007 年第 4 半期。
- 勧告草案 Y.ipv6sig (NGN での QoS 信号サポートとして IPv6P を利用するための要求条件)は、タイトル修正や VPN の QoS プロビジョニングシナリオの改善等を実施することで完成度を向上させた。完成目標は 2007 年 4 月。
- 勧告草案 Y.ipv6multi(IPv6 型 NGN でのマルチホーミングのフレームワーク)は、記載内容の充実化や図の修正を実施し完成度を向上させた。完成目標は 2007 年 4 月。
- 勧告草案 Y.ipv6req(IPv6 型 NGN のサービス要求条件と機能能力)は、スコープや要求条件の明確化を実施し内容の充実化を図った。完成目標は 2007 年 4 月。
- 2007 年 4 月の SG13 会合では、上記 4 勧告草案を議論し完成度向上とコンセントを目指す。

### 3.2.4 Q10/13: 地上網ならびに NGN と、衛星網との相互接続性(T.Ors (インテルサット, 米国))

- 今回は会合なし。

### 3.2.5 Q.15/13: NGN セキュリティ (Igor Faynberg (Lucent Technologies, 米国)) 【江川、針生、宮田、足立】

- 勧告草案 Y.2701(NGN R1 のセキュリティ要求条件、承認済み)は、at&t、シスコ、テレコーディア連名で、修正提案寄書(C-407)が 1 件出されたが、TAP 承認済みの文書への修正提案であった為、4 月の

SG13 会合にメンバーステートから提出するよう整理され、Q15 では提案内容に関する非公式な議論のみ行われた。

- **勧告草案 Y.IDMsec(NGNのID管理セキュリティ)は、各国の関心が高く、19件の寄書が審議され、活発な議論が行われた。** ベリサインから9件のテキスト提案がなされたが、ベリサイン独特のフレームワークをベースとした提案であった為、必ずしも他メンバの理解を得られていないが、合意された範囲で採択されている。テレコーディアより、シングルサインオン、及びFMCのユースケースが提示され、appendixに載せられた。NECのプライバシー、権限委譲に関する記述提案、NTTの軽微な修正提案は、ほぼそのまま採用された。検討状況を、IdMFGに通知することとした。完成目標は2008年第一四半期。
- 勧告草案 Y.secMechanisms(NGNセキュリティ実現機構)は、2件の寄書が審議された。米国国防総省寄書(C-262)により、TLS、IPsecの鍵交換方式としてECC(楕円曲線暗号)の追加が提案され、合意された。ただし、ラポータのコメントにより、参照可能な標準の使用、及びRSA等と比較したECCのメリットの明確化を行い、追加提案することとなっている。完成目標は2007年9月。
- 勧告草案 Y.NGN Authentication(NGNにおけるユーザ、機器、NW等の認証認可に関する要求条件規定文書)は、NTT寄書(C-262)に基づいたSAMLに関するappendixのエディトリアル修正、及びフランステレコム寄書(C-373)に基づいたバンドル認証に関するテキスト追加が合意された。完成目標は2007年9月。
- 勧告草案 Y.NGN AAA(NGNにおける認証認可の要求条件を実現するための一具体的方法)は、エディタ寄書(C-358、韓国(ETRI))により、ID登録に関するテキスト追加提案がなされたが、記述に不明確な点が多く、メンバの理解を得られなかった為、明確化して再度提出することとなった。完成目標は2007年9月。本課題は、2007年4月のSG13会合にて、上記を含む草案の完成度向上予定。
- Q.2で検討中のY.idserv-reqtsは、検討分担の説明が不十分であったため、継続して合同検討することとなった。
- Q.7/11で検討中のQ.nacf.secは、EAPのみの使用に限定しており、Q.15の見解と異なるため、合同検討の必要性が認識された。
- 本課題は、2007年4月のSG13会合にて、上記を含む草案の完成度向上予定。

### 3.3 WP3: サービス要求条件とシナリオ(議長: 森田直孝、NTT、日本)

WP3ではサービス要求条件とシナリオに関する以下の5課題を扱う。

- (1) Q.2/13: Requirements and implementation scenarios for emerging services in NGN
- (2) Q.7/13: Network and service interworking in NGN environment
- (3) Q.8/13: Service scenarios and deployment models of NGN
- (4) Q.12/13: Frame Relay
- (5) Q.14/13: Protocols and service mechanisms for Multi-service Data Networks (MSDN)
- (6) Q.16/13: Requirements and framework for enabling COTS components in an open environment

#### 3.3.1 Q.2/13: NGNにおける早期実現サービスの要求条件とインプリメントシナリオ(Marco Carugi (Nortel, UK))【成田、劔吉】

- 勧告草案 Y.ngn-rtconv(NGNでのIMS型リアルタイム会話型マルチメディアサービス)は、UKから1件、中国から12件の寄書があり、ドラフトが改版された。また、中国からの提案により、勧告草案 Y.ngn-upt(NGNでのUPTサービス)については、Y.ngn-rtconvに吸収された。**Y.ngn-rtconvは2007年4月の承認を目指しており、完成度は高。**
- 勧告草案 Y.NGN-R2-Reqts(NGN Release 2要求条件)については、日本、中国、韓国からの計5件の寄書が審議され、ドラフトが改版された。NTT Comwareからのモビリティに関する提案についても了

承され基本的な考え方について草案に追記された。完成度は低。

- 勧告草案 Y.ngn-openenv(NGN アプリケーションやユーザサービスに向けたオープンサービス環境能力)については、中国と韓国からの寄書 4 件が審議され、ドラフトが改版された。完成度は中。
- 勧告草案 Y.MDS-Req(管理された配信サービスの要求条件)に関連しては、日本と韓国から 3 件の寄書が審議され、ドラフトが改版された。NTT からの寄書についても了承され FG-IPTV との重複を避けることならびにサービス固有の要求条件は本文書に記載しないことが合意された。その結果、サービスシナリオに対する懸念事項が草案に反映された。完成度は低。
- 勧告草案 Y.ngn-account(NGN の課金関連の要求条件とフレームワーク)は、韓国と中国からの計 7 件の寄書が議論され、ドラフトの改版が行われた。**2007 年 4 月の完成を目指しており、完成度は高。**
- 勧告草案 Y.idserv-reqts(NGN における ID ベースサービス要求条件)は、ETRI から 4 件、日本から 1 件の寄書が審議され、ドラフトが改版された。NEC からのドキュメントの範囲に関する寄書についても考慮すべきことが合意された。完成度は中。
- Y.ngn-mcast(MPLS による QoS をサポートする NGN マルチキャスト)については、韓国からの 2 件の寄書について審議され、ドラフトが改版された。完成度は中。勧告草案 Y.ngn-mcasts(NGN マルチキャストサービスフレームワーク)についての寄書はなかった。
- 勧告草案 Y.mpls-mob(モビリティと QoS をサポートする NGN サービスのための MPLS 能力)は、2 件の寄書が審議され、ドラフトが更新された。完成度は中。
- **Q.2/13 中間会合が 3 月 5～9 日に韓国(ソウル)で行われることとなった。** 主に Y.ngn-rtconv、Y.ngn-account、Y.ngn-openenv(Y.MDS-req も含む)、Y.idserv-reqts について作業が行われる。

### 3.3.2 Q.7/13: NGN 環境でのネットワークインターワーキングとサービスインターワーキング(Ghassem Koleyani (Nortel Networks, カナダ))

- 寄書がなかったため今回は会合なし。

### 3.3.3 Q.8/13: NGN のサービスシナリオと展開モデル(Heechang Chung (NCA, 韓国))【仲道、上村】

- 勧告草案 Y.wsconv (WEB サービススペースの NGN コンバージェンスサービスシナリオ)は、韓国(ETRI)寄書に基づき、6、7 章における重複事項(6.2 章の Services Broker と 7.2 章の Web Services Gateway)の整理および章立ての再構成が図られた。また、Huawei 寄書に基づきファンクション・スクリーニング機能(プロバイダがユーザに対して、ある規則に従って異なるタイプのサービスを提供する機能)に関する記述が追加された。ただしファンクション・スクリーニング機能に関しては、定義の明確化、ユースケースの追加が求められた。本勧告草案は 2007 年下旬の勧告化を目標とする。
- 勧告草案 Y.ctmp (複数プロバイダ環境で使用される NGN コンバージェンス端末をサポートする NGN 能力)は、韓国(NIA, Dongeui Univ, ETRI, Sungkyul Univ, Inje Univ)の寄書に基づき、7、8 章の詳細化が図られた。ただし本勧告草案の範囲が、NGN コンバージェンス端末なのか複数サービスプロバイダの役割規定なのかが不明確であることが指摘され、今後明確化が求められた。また、Motorola 寄書に基づきパーソナル・ブロードキャストサービス(PBS)のユースケースとしてシームレスローミングサービスおよびユーザ作成コンテンツの提供サービスが追加された。本勧告草案は 2007 年下旬の勧告化を目標とする。
- 勧告草案 Y.cwbs (コンバインドウェブブラウジングサービスシナリオ: 端末の性能に応じて情報を変換し配信するサービス)は、韓国(ETRI)寄書に基づき 7.1、7.2 章のサービスシナリオに関する記述内容の

詳細化、シーケンスの詳細化が図られた。また本勧告草案ではサービス制御機能として WP-FE(Web Proxy Functional Entity)が追加されており、ユーザ・プロファイルのやり取りのために、WP-FE と NACF/RACF とのインタラクションが規定されていることから、Q.3/13 との統合が必要であることが認識された。本勧告草案は 2007 年下旬の勧告化を目標とする。

- 2007 年 4 月の SG13 会合では、リビングリスト項目、他課題との統合について継続検討し、上記勧告草案の完成度向上を図る予定である。

### 3.3.4 Q.12/13: フレームリレー (Rao Cherukuri (Juniper Networks, アメリカ))

- 今回は会合なし。

### 3.3.5 Q.14/13: マルチサービスデータネットワーク(MSDN)のためのプロトコルとサービスマカニズム (Meng Ji (associate Rapporteur, WRI, 中国))

- 今回は会合なし。

### 3.3.6 Q.16/13: Open Communication Architecture Forum (Johannes Prade Siemens Germany)

- 今回は会合なし。

## 3.4 WP4: QoS and OAM (議長: Mr. N. Seitz, 米国)

WP4 は、QoS および OAM に関する以下 2 課題から構成されている。

- (1) Q.4/13: Requirements and framework for QoS for NGN
- (2) Q.5/13: OAM and network management for NGN

### 3.4.1 Q.4/13: NGN のための QoS の要求条件とフレームワーク (Hui-Lan Lu (Lucent Technologies, 米国)) 【山田、松原】

- 勧告草案 Y.mpm (NGN における性能測定の管理の要求条件、管理アーキテクチャ)は、エディタの ETRI 寄書により、RACF 以外の機能エンティティと接続する際の参照点定義、およびパッシブ測定定義にかかわる補足説明を追加し、ドキュメントの改訂を行った。性能評価メトリクスおよび性能劣化時の解決にかかわる記述については、継続検討となった。**2007年4月の承認を目指す、9月での決着も視野に入れている。**
- 勧告草案 Y.123qos (イーサネットベースの IP アクセス網における QoS アーキテクチャ)は、エディタの Huawei 寄書により VoIP、VoD、VoB の各サービスのユースケースが、Soft switch 標記や RACF 参照点の一部などの修正の後、Appendix として合意された。**2007年4月の承認を目指す。**
- 勧告草案 Y.enet (イーサネットベース NGN における QoS アーキテクチャ)は、エディタの韓国 ICU よりエディトリアルな修正が加えられた勧告草案が提出された。**2007年4月の勧告化を目指す。**
- 勧告草案 Y.flowreq (NGN におけるエンドエンド QoS およびトランスポートリソース制御のためのフローウェア転送の要求条件)は、BT (エディタ)と ETRI から 6 件の寄書が提出され、フロー制御を行わないトラフィックをマージするためのフレームワークなどが追加された。また、Jinoo Joung 氏 (韓国: ETRI) がエディタとして加わった。**2007年4月の勧告化を目指す。**
- 勧告草案 Y.2111 (RACF ; リソース / 受付制御機能) リリース 2 は、主に、マルチキャスト関連機能 (Huawei, 韓国)、RACF 参照点 Rc (転送系から RACF への状態通知・情報収集用) 関連記述 (日立)、ネットワークポロジータ情報収集機能 (Huawei)、CPE と直接アクセスする新規参照点 Rh 関連記述

(フランステレコム)、 受付リソース制御のための RTCP ベースの QoS 通知手法 (KDDI) にかかわる検討を行った。検討結果ポイントは以下のとおり。

マルチキャスト機能については、Q3/13 とのジョイント審議の結果、マルチキャストツリー管理にかかわる検討を除外し、RACF 検討に特化することを確認した。なお、マルチキャスト用の新規機能追加提案については結論がでず、継続検討する。

参照点 Rc に関連し、情報コンポーネントにかかわる定義について継続検討する。

ネットワークポロジ-情報収集機能が RACF リリース 2 検討項目として合意された。

参照点 Rh を含む HGW の内における RACF 定義の検討が開始された。

RTCP ベースの QoS 通知手法については、IETF における RTCP 検討も考慮し継続検討する。

また、アルカテル上海ベルの寄書を基に、P2Pサービス(例: SCFアクセスを行わないトラフィック)も NGNアーキテクチャで説明がつくサービスシナリオであれば、RACF制御対象とする検討がなされた。実際的な NGN適用を今後検討する上で必要な議論と思われる。

- 韓国 (ETRI) による寄書 (C387) によってコア網が MPLS で構築されている場合のリソース制御に関する勧告草案 (Y.RACF-MPLS) が新たに提案され、検討を継続することとなった。本文書を勧告草案とするか、補足文書草案 (Informational) とするかは未定。
- 日立寄書 (C263) は、RACF 参照点 Rc にかかわるテキストを提案し、RACF R2 10.3.3.1 Resource status information elements へ追加することが合意された。今後、寄書を募り記述内容の詳細化を図る予定。Rc はネットワークポロジ-管理情報および、ネットワーク品質情報を通信する参照点として重要性が確認されている。
- KDDI 寄書 (C322、C323) は、ネットワーク品質測定に Y.mpm の品質管理フレームワークを利用する提案、測定結果に基づくリソース受付制御提案、および、FMC 環境を考慮した RTP/RTCP ベースの QoS 測定・通知にかかわる新規ベースラインドキュメントの作成提案について、それぞれ合意された。提案 QoS 情報通知手法については、Y.mpm エディタ (韓国 ETRI) および Y.123qos エディタ (中国 Huawei) から賛同の意見があり、日中韓で連携した検討を今後継続する。
- 2007 年 4 月の SG13 会合では、マルチキャストサポート機能、参照点 Rc および Rh の詳細化、Y.mpm と連携した RTP/RTCP ベースの QoS 情報通知スキーム、MPLS 制御機能、ネットワークポロジ-情報収集機能といった RACF リリース 2 関連検討を継続する。

### 3.4.2 Q.5/13: NGN の OAM と網管理 (Gilles Joncour (France Telecom, 仏))

- 今回は会合なし。

## 4. 参考情報

### 4.1 SG13 マネージメント構成

SG13 のマネージメントチームの構成を表 2 に示す。

表 2 SG13 マネージメント構成

氏名	役職・役割
Mr. Brian Moore (英国)	SG13 議長
Mr. Helmut Schink (独)	SG13 副議長および WP1 議長
Mr. Chae-Sub Lee (韓国)	SG13 副議長および WP2 議長



Mr. Naotaka Morita (日本)	SG13 副議長および WP3 議長
Mr. Neal Seitz (米国)	SG13 副議長および WP4 議長
Mr. Haitham Chedyak (シリア)	SG13 副議長 ( Liaison with the ITU Development Sector)
Mr. Olivier Le Grand (仏)	SG13 副議長 ( Liaison with organisations in the European area (particularly ETSI, ETNO, EICTA and NGN study activities of the EU Commission))
Mr. Lintao Jiang (中国)	SG13 副議長 ( Liaison with the organisations in the Asia Pacific area (particularly APT, ACIF, TTA, TTC and CCSA))
Mr. Joe Zearth (米国)	SG13 副議長 ( Liaison with the organisations in the Americas area (particularly CITELE, TIA, ATIS, TSACC))

#### 4.2 WP 構成

WP 構成、WP 議長および担当分野を表 3 に示す。

表 3 WP 構成

WP	議長	関連課題	担当分野
WP1	Mr. Helmut Schink (独)	Q.1/13, Q.11/13 and Q.13/13	Project management and coordination
WP2	Mr. Chae-Sub Lee (韓国)	Q.3/13, Q.6/13, Q.9/13, Q.10/13 and Q.15/13	Functional architecture and mobility
WP3	Mr. Naotaka Morita (日本)	Q.2/13, Q.7/13, Q.8/13, Q.12/13, Q.14/13 and Q.16/13	Service requirements and scenarios
WP4	Mr. Neal Seitz (米国)	Q.4/13 and Q.5/13	QoS and OAM

#### 4.3 課題構成

16 の課題とラポータ、アソシエイトラポータの一覧を表 4 に示す。

表 4 検討課題およびラポータ

課題	タイトル	ラポータ	アソシエイトラポータ
1/13	Project coordination and release planning for NGN	Kyung Yeop Hong (Cisco, USA) が、2006年10月会合にて退任。2007年1月会合は暫定でHideo Imanaka (NTT)が着任。2007年4月のSG13会合で正式に承認予定。	Li MO (ZTE, China) Stewart Alexander (BT, UK) (暫定)Xin Chang (Huawei Technologies, China)
2/13	Requirements and implementation scenarios for emerging services in NGN	Marco Carugi (Nortel Networks, UK)	
3/13	Principles and functional architecture for NGN	Keith Knightson (Industry Canada, Canada)が欠席のため、アソシエイトラポータのScott Brim (Cisco, USA)が代理。	Scott Brim (Cisco, USA) Zhong Lou (Huawei Technologies, China)
4/13	Requirements and framework for QoS for NGN	Hui-Lan Lu (Lucent Technologies, USA)	Dan Chen (ZTE, China) Hans Kim (Korea Telecom, Korea)
5/13	OAM and network management for NGN	Gilles Joncour (France Telecom, France)	
6/13	NGN mobility and fixed-mobile convergence	Baofeng Zhang (Huawei, China)	
7/13	Network and service interworking in NGN environment	Ghassem Koleyni (Nortel Networks, Canada)	
8/13	Service scenarios and deployment models of NGN	Heechang Chung (NCA, Korea)	Jiashun Tu (ZTE, China)
9/13	Impact of IPV6 to an NGN	Hyoung Jun Kim (ETRI, Korea)	Enhui Liu (Huawei Technologies, China)
10/13	Interoperability of satellite with terrestrial and Next Generation Networks (NGNs)	Tolga Ors (Intelsat, USA)	Mark Neibert (Intelsat, USA)
11/13	General network terminology	空席,	
12/13	Frame Relay	Rao Cherukuri (Juniper Networks, USA)	
13/13	Public Data Networks	Lintao Jiang (CATR, China)	Baohong He (RITT, China)
14/13	Protocols and service mechanisms for Multi-service Data	Shaohua Yu (WRI, China)	Meng Ji (WRI, China)

	Networks (MSDN)		
15/13	NGN Security	Igor Faynberg (Lucent Technologies, USA)	
16/13	Requirements and framework for enabling COTS components in an open environment	Johannes Prade, (Simense, Germany)	

表 5 ITU-T NGN-GSI(SG13 関連)会合の主な参加者

総務省参与 森田 直孝
日本電信電話株式会社 今中 秀郎 針生 剛男 宮田 輝子 足立 真一 二宮 希理子 北川 晋
NTT コムウェア株式会社 成田 篤信
KDDI 山田 秀昭 上村 郷志
日本電気株式会社 江川 尚志 劔吉 薫 大和 理
富士通株式会社 仲道 耕二
株式会社 日立製作所 松原 大典
(独)情報通信研究機構 盛岡 敏夫